

5年間の主な事業(令和2~6年度)

産業廃棄物の3Rに関する事業

事業者支援 / 9億8784万円

環境産業コーディネーター派遣事業

個別に企業を訪問し、廃棄物の3Rの課題解決や産産・産学マッチング支援などを実施

みやぎ産業廃棄物3R等推進設備整備事業

産業廃棄物の3Rなどの効果が期待できる事業に関する設備導入支援

● 今後、大量廃棄が想定される廃太陽光パネルのリサイクル設備の導入(右写真)



フードバンク支援事業

県内フードバンク団体の連携強化への支援やフードドライブ活動(右写真)などを実施



試験研究 / 1億3119万円

みやぎ産業廃棄物3R等推進研究開発事業

企業などが行う3R推進のための研究開発などの取り組みを支援

● 廃棄される漁網を活用したアスファルト舗装の技術開発

キノコ廃菌床を利用した野菜栽培資材の開発

キノコ生産で大量に発生する廃菌床をリサイクルして、ミニトマトやイチゴの養液栽培用の有機質培地としての使用を研究

普及啓発・環境学習 / 2億9618万円

循環型社会に貢献できる産業人材育成事業

工業高校での解体木造建築物の構造材再利用促進のための基礎的研究などを実施

海岸漂着物等地域対策推進事業

海岸漂着物の組成調査や、小学校での環境教育(右写真)を実施



産業廃棄物の適正な処理の促進に関する事業 6億9209万円

産業廃棄物適正処理監視指導員設置事業

保健所などに産廃Gメンを配置し、不法投棄などの監視体制を整備

産業廃棄物不法投棄監視強化事業

監視カメラを設置して監視体制を強化するとともに、ヘリコプターによる上空からの監視活動(右写真)などを実施



産業廃棄物を減らすために私たちができることは？

産業廃棄物は、実は私たちの生活にも深く関わっています。

産業廃棄物を減らすために、私たち一人一人ができることから始めましょう。



リサイクル製品など環境に優しい製品を選ぶ



パッケージの少ないものを選んだり、マイバッグを持参する



職場や外出先でゴミを捨てる時も分別を徹底する



食べかすや食用油を下水に流さない



リユースショップやフリマアプリを活用する

問 循環型社会推進課 ☎022(211)3207

宮城県産業廃棄物税

循環型社会の実現に向けて



県は、限りある資源を効率的に活用し、持続可能な形で循環させていく「循環型社会」の実現に向けて、平成17年度に「産業廃棄物税」を導入し、5年ごとに見直しを行っています。現在の課税期限は令和7年3月31日までですが、再度5年間延長する手続きを進めています。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いします。

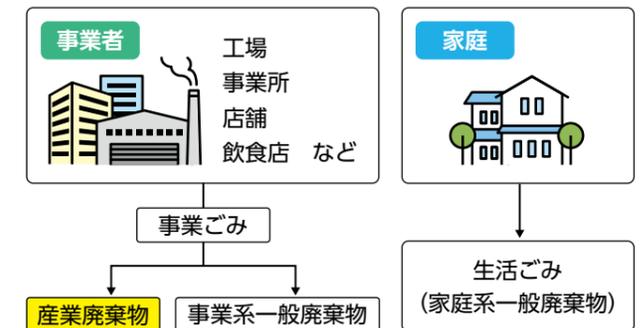
そもそも産業廃棄物って？

産業廃棄物とは、事業活動で出たごみのうち、廃プラスチック類や金属くず、汚泥など、法令で定められた20種類のごみのことをいいます。事業者には、法令に定められた適正な処理が求められます。

県内の産業廃棄物排出量は、年1048万ト(令和4年度)で、一般廃棄物を含めた廃棄物全体の90%以上を占めています。このため、循環型社会を実現する上で、産業廃棄物の3R\*を推進することがとても重要です。

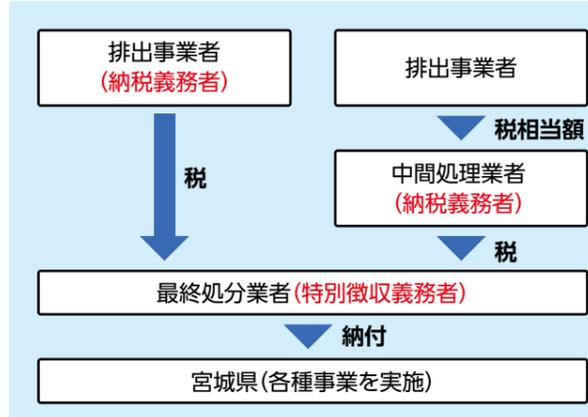
\*3R(スリーアール)とは、Reduce(リデュース)=削減、Reuse(リユース)=再利用、Recycle(リサイクル)=再生利用

廃棄物の分類



税の仕組みは？

産業廃棄物税は、県内の産業廃棄物最終処分場への搬入に対して課税されます。税率は、産業廃棄物の搬入重量1トにつき1000円で、毎年度の税収は、4億円程度です。



宮城県循環型社会形成推進計画(第3期) 目標値(令和12年度末)

- 産業廃棄物排出量: 1000万ト/年以下
- リサイクル率: 35%以上
- 最終処分率: 1%以下

税導入の効果は？

税収は、産業廃棄物の3Rに関する事業や産業廃棄物の適正な処理の促進に関する事業に充てています(左頁参照)。

税導入後、産業廃棄物排出量や最終処分率は着実に低下しています。東日本大震災後は増加しましたが、再び減少に向かっており、税導入による一定の効果が認められています(下図参照)。

課税期間を延長するのはなぜ？

今後も産業廃棄物の3Rや適正処理の推進など、施策の充実・強化を図っていくための財源として、産業廃棄物税は重要な役割を担っているためです。

